

車載用小型同軸コネクタ

イリソ電子とケルが共同開発

9GHzまでカバー、AD/ADASに対応

イリソ電子工業とケルは、AD/ADAS市場の高度化やSDV(ソフトウェア・デファインド・ビークル)の開発加速に伴う車載用同軸コネクタへの高速伝送・広帯域化要求に対応するため、車載用小型同軸コネクタの共同開発・研究を行い、このほど試作品を開発した。

ハーネス配策

共同開発した車載用小型同軸コネクタは、9ギガヘルまでの高周波帯までカバーすることで、高度化するAD/ADASシステムに対応でき、さらにコネクタの小型・小径化により、ECUへの高密度実装と適切なハーネス配策を実現させる

ことが可能となる。

製品名は「小型同軸防水コネクタ(基板側+ハーネス側)」。主な特徴は、車載用の同軸防水コネクタ小型サイズ。基板側サイズは縦12・4×横10・7

×奥行14・8ミリ。ケーブル側サイズは縦11・45×横9・1×奥行き20・65ミリ。嵌合

(かんごう)時ケーブル側飛び出し量11・5ミリ。φ12ミリの穴への配策が可能。9ギガヘル



車載用小型同軸コネクタ試作品

ル側飛び出し量11・5ミリ。φ12ミリの穴への配策が可能。9ギガヘル対応の優れた高周波特性(USCAR)。スルーホールリフロー実装に対応。主な用途は、AD/ADAS制御ユニット

とセンサー接続、通信ユニットとアンテナ接続、そのほか各種ECU間での同軸ハーネス接続など。

両社は、共同開発により、2025年度(26年3月期)内の小

型同軸防水コネクタの試作評価および量産準備を進める計画。

イリソ電子工業は、24年度(25年3月期)からスタートした新中期経営計画「2026

中期経営計画」における注力分野の一つに、モビリティ市場のセンサー分野を位置付ける。共同開発などによるカメラ事業再構築を重点施策に掲げている。

る。その方針のもとで、高周波小型同軸防水コネクタをコネクタメーカーのケルと共同で開発を進めており、2025年度以降の早期量産化を目指している。

同社の鈴木仁社長は、ケルとの共同開発について「高速伝送対応同軸コネクタ開発のための共同開発先の調査を進めていた中で、ケルは同軸コネクタに高い知見があり、細線同軸の技術も有しているため、小型品から大型品までを開発する上での良い協力関係が築けると判断した」と話す。